大林組・土木職のONとOFF。

OBAYASHI PEOPLE

ここで
自分らしく
生きていく。



株式会社大林組（土木職）
RECRUIT BOOK

MAKE BEYOND つくるを拓く
大林組

東京都港区港南2-15-2　品川インターシティB棟
Email：doboku-recruit@ml.obayashi.co.jp（土木職採用担当）








It's my LIFE.

自分らしく働き、
成長しながら生きる。

ダムやトンネル、橋梁など、日本の社会基盤をつくる大林組。
未来へとつながる、その仕事のスケールは壮大です。

いま、“すごい人”に見える先輩社員も、最初はみんな1年生でした。
仕事を通じてつかんだもの、成長していく過程で出会った人、
転機となった出来事など、
その人だけが語ることのできる物語があります。

みなさんにお伝えしたいのは国内・海外問わず活躍し
自分らしく人生を歩む先輩たちのオンとオフ。
どうぞご覧ください。

CONTENTS

OBAYASHI PEOPLE

本田 凌太郎（現場部門／施工管理）
インタビュー ---- 04-05
現場の仕事／1日のスケジュール ---- 06-07
杉山 洋平（現場部門／施工管理）
インタビュー ---- 08-09
キャリアパス ---- 10-11
幸良 淳志（内勤部門／設計）
インタビュー ---- 12-13
キャリアパス ---- 14-15
小枝 千尋（内勤部門　／技術）
インタビュー ---- 16-17

女性社員座談会 ---- 18-19

ABOUT OBAYASHI

インフラの建設 ---- 20-21
内勤の仕事 ---- 22-23
海外建設事業 ---- 24-25








PEOPLE 01

充実した時間を重ね、幸せな人生をあゆむ。





現場で経験を積み、キャリアを切りひらく。

PROFILE



本田 凌太郎

2021年入社
大阪本店
宇治田原ICJV工事事務所（京都府）

愛媛県出身。大学の講義で、コンクリートの素材としての汎用性の広さに興味を持つ。同じ研究室の先輩リクルーターに声をかけられたことがきっかけで大林組に入社。一人暮らしだが、最近5人がけのソファーを購入した。

PEOPLE 01
RYOTARO HONDA

なにもないところに、景色をつくる。

ON STYLE 01

入社の決め手

スケールの大きいものづくりがしたい。

子どもの頃から大きな建物を見て「どうやってつくるのだろう」と考えるのが好きで、都市計画やものづくりに関われる仕事に就きたいと思っていました。大学時代は環境や土木について学び、就活のタイミングで大林組のシールドマシンの発進立坑の構築工事現場を見学するセミナーに参加。大規模な仕事を間近で見られたこと、社員の皆さんの豊富な知識やリーダーシップ、親切な人柄に惹かれて入社を決めました。



ON STYLE 02

仕事のやりがい

大規模現場だからこそ、得られること。

高速道路の本線とインターチェンジをつくる現場で施工管理業務を行っています。現場にとって最適な施工方針や工程などを上司や協力会社の方に相談しながら決定して進めていきます。大きな現場なのでICT技術・情報に触れる機会が多く、3次元データを瞬時に取得できるドローン測量や3Dモデルを活用するソフトウェアなど、生産性向上に関する技術を学べる環境です。



ON STYLE 03

今後の目標

経験を積み上げ、人として強くなる。

「自分が現場を動かしている」という実感が強くなるほど、仕事は楽しくなると思います。現場では自分の親くらいの世代の方に指示を出すこともあるので、臆せずに自分の意見を言うためにたくさんの経験を積み、もっと知識・技術・度胸を身につけることが必要と感じています。また今後のキャリアとして、設計の知識を学ぶことにも興味を持っています。

OFF STYLE

オフの充実が、良い仕事につながる。

京都の現場に来てよかった。そう思うことのひとつが「オフが充実していること」です。私は岡山の大学出身なので、学生時代の仲間とも会いやすいし、都会なので買い物も楽しく、遊ぶ場所もたくさんあります。休日は彼女と一緒に鴨川をウォーキングしたり、旅行に行ったりしています。また、先輩が乗っているのを見てかっこいいなと思い、中古ですがBMWを購入しました。リフレッシュの時間は良い仕事につながるので、しっかり楽しんでいます!





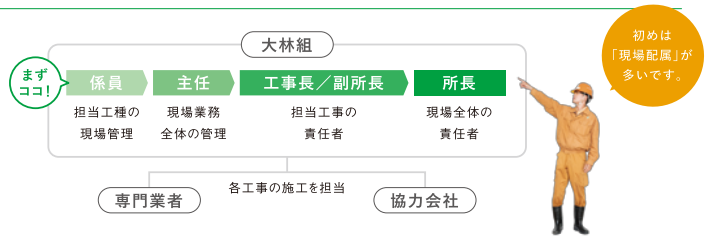
大林組の現場

世界でひとつの、ものづくりに挑む。

大林組土木職の仕事は大きく分けて「現場部門（施工管理）」と「内勤部門（設計・技術・営業・研究）」のふたつがあります。
このページでは、「現場部門（施工管理）」の仕事をご紹介します。

現場部門（施工管理）とは

構造物をどのようにつくるかを考え、品質・原価・工程・安全・環境を管理します。大林組では、現在約1,200人の社員が現場勤務です。入社後は係員として担当工種の施工管理の仕事からスタートします。



現場での役割

施工管理

品質管理	原価管理	工程管理	環境管理	安全管理
施工計画に沿った検収・検査・確認	適正な利益を得るため収支を管理	日常的な作業打ち合わせ、週間・月間工程表作成	環境に関する書類の確認・管理	安全衛生に関する法令や基準を遵守した管理

ステークホルダーマネジメント

発注者	第三者	協力会社
検査準備・立会検査、報告書の作成	近隣への対応	協働してプロジェクトを進行



工事全体のマネジメントを実施。

実際に施工に関わる協力会社と協働して構造物を建設します。案件によっては、数千人の作業員を束ねることもあります。監督・指揮者の役割を担い、プロジェクトを進行。社内外問わず、人とのコミュニケーションをとりながら現場の士気を高め、工事の確実な進行を目指します。



MESSAGE

巨大プロジェクトの先頭で、指揮をとる。
施工管理は、ものづくりの最前線です。

密着 ONE DAY SCHEDULE

施工管理の1日

京都で、新名神高速道路の
本線・インターチェンジの工事現場で働く
本田 凌太郎さんの1日に密着しました。
スケール、大きいです！





6:30 起床、ストレッチ

7:30 出社

7:40 朝礼・ATKY（作業前安全確認）

100人以上の作業員を前に朝礼を行います。





8:00 現場巡回

作業管理や安全の確保のために、現場を自分の目で確認してまわります。



12:00 事務所社員と一緒に昼休憩



13:00 本社と会議

本社の社員と、ICT関連の打ち合わせ。他現場の最新技術を使った事例共有などを行います。



14:00 デスクワーク

現場の施工に関する検討業務、設計コンサルから上がってきた構造計算の確認などを行います。



15:00 現場巡回

17:15 終業

PEOPLE 02

週末には新幹線で、家族のもとへ帰る。





竣工を目指し、大勢の人を束ねる。

PROFILE



杉山 洋平

2014年入社
名古屋支店
近鉄四日市駅バスタ工事事務所（三重県） 工事長

北海道の大学で土木工学を学ぶ。ものづくりが好きな性格を活かせる仕事を探す中で大林組のおおらかな雰囲気を魅力に感じ入社。週末は三重県から千葉県の自宅まで新幹線で帰り、家族との時間を過ごしている。

PEOPLE 02
YOHEI SUGIYAMA

キャリアのなかで必ず、大きな仕事に出会う。

ON STYLE 01

入社の決め手

ゼネコンはきっと、自分に向いている。

普段から「工事現場の囲いの中」に興味を持っていました。就活時は建設機械メーカー等も考えましたが、これから時代と共に変化していく可能性をゼネコンに強く感じて、面白そうだ、自分に向いていると思いました。大林組に決めたのはリクルーターの先輩と接していて面倒見の良さや、おおらかな社風を感じたからです。



ON STYLE 02

仕事のやりがい

交渉力が磨かれる現場。

近鉄四日市駅前にバスターミナルを整備する現場で、監理技術者※として勤務しています。工事を安全に、円滑に進めるために発注者（国交省）や設計者、隣接して工事を行う他社の現場担当者など、あらゆる方面と協議をします。日々、交渉力が鍛えられる仕事です。工期は長いですが、少しずつ出来上がっていく現場を見るたびに達成感があります。

※現場の技術面での責任者



ON STYLE 03

今後の目標

地元のインフラ工事を手掛けたい。

まずは今の現場を無事に竣工させること。そしていつか、自分の生まれ育った街のインフラ工事に関わる仕事をするのが夢です。地元に貢献したいという気持ちはもちろん、子どもの頃から知っている場所で仕事をするという不思議な感覚を味わってみたいと思っています。

OFF STYLE

娘の成長を実感する週末。

現在単身赴任中で、現場の四日市市から自宅のある千葉県流山市までほぼ毎週新幹線で帰っています。3時間半かかります（笑）。平日はテレビ電話などでコミュニケーションをとっていますが、休日はやはり直接会って、家族との時間を大切にしたいのです。自宅のそばにある大きな公園でピクニックをしたり、娘の習い事の送り迎えをしたりしています。ピアノを弾くところや、スイミングスクールで泳いでいる様子をみると、成長を感じられて嬉しいですね。



育てやすい場所を選び、自宅を購入しました。



私のキャリア

リーダーとしての力を身につけていく。

高速道路の現場、バングラデシュでの橋梁建設、そしてバスターミナル整備。大規模な工事の経験を積み重ね、「人を育て、率いていくリーダー」としての力を磨き続ける、杉山さんのキャリアを紹介します。

新人時代の学び方

入社後、最初の配属は東京外環自動車道（高速道路）の施工管理。作業員の数は200人以上という大きな現場でした。朝礼で人前に立つことは緊張しましたし、知識も経験も浅いなかで年上の作業員の方々に指示を出す難しさもありました。新人の頃私が心がけていたのは図面をよく読むこと。たとえば作業の安全性を確認したり、検査に対応する時図面を見てすぐに答えられるように事前に印刷してペンで書き込むなど、勉強をして臨んでいました。最初の現場で私が担当したのは2kmほどの短い区間だったのですが、竣工後に自分の車で運転しその場所を通ったときには、なんとも言えない達成感がありました。



外環自動車道国分工事



バングラデシュで、インフラの構築





現地のスタッフとバスケットボール

若手の頃から海外勤務を希望していました。日本より多くの人数を束ねる経験が今後に活かせると思ったからです。入社6年目にバングラデシュの都市ダッカから車で4時間ほどの場所で、橋をつくる現場を担当しました。現地の上司に「日本人にしかできない仕事をしよう」と言われたのが印象に残っています。それは若いローカルスタッフを育て、いずれ日本人技術者がいなくても自国で大きなプロジェクトができるようになること。人を育てることも日本から来た我々のミッションなのだと感じました。言葉や宗教の壁に苦労しながら、部下に対する説明の仕方や、確認をすることの大切さを学びました。



MESSAGE

キャリアの中で必ず関わる巨大プロジェクト。
竣工したときの達成感をぜひ味わってほしいです。

It's my LIFE.

CAREER PATH

大型案件への挑戦や、人生の転機。
「なりたい自分」への道には、さまざまな出来事が待っています。



1 入社
大林組で働いていた親戚がいたので、親近感を持っていた。

2 初配属
東京本店外環自動車道の現場勤務
200人以上の前で行う朝礼に緊張。

3 結婚
東北支店大洞トンネル工事事務所勤務
仕事の効率を高め、なるべく家での時間を増やすように。

4 長女誕生
父親としての責任感から、一層仕事に力が入る。

5 バングラデシュ勤務
東京本店外環中央北
ランプJV工事事務所勤務
自ら希望して単身赴任。
娘に忘れられないようまめにテレビ電話でつながる。

名古屋支店柳生川
シールドJV工事事務所勤務

6 現在
近鉄四日市駅バスタ工事現場で
工事長に就任。
かつてない数の関係各所と
協議を進めながら、
バスタ完成をめざす。

PEOPLE 03

良い本との出会いは、直感。





設計は、専門知識とバランス感覚。

PROFILE



幸良 淳志

2010年入社
土木本部コンストラクションマネジメント部
副課長

大学院で都市環境工学を専攻。大きな構造物を造ることに携わりたいと就活をするなかで、大林組の事業内容への興味、社員が話す関西弁に親しみを感じて入社。妻、3人の子ども、セキセイインコと暮らす。

PEOPLE 03
ATSUSHI KORA

環境の変化はすべて、プラスと捉える。

ON STYLE 01

入社の決め手

「人間味」を感じる企業。

大きな構造物を造る仕事に就きたいと思っていました。デベロッパーや鉄道会社なども視野に入れていましたが、大林組で働くことで建設の最前線にいられると思ったこと、そして企業の雰囲気に人間味を感じたことが入社の決め手になりました。私は関西出身なので、社員のみなさんが話す関西弁に安心したのを覚えています。



ON STYLE 02

仕事のやりがい

効率を高める、より最適な設計へ。

3年ほど現場を経験したあと設計に異動。現場からの要望に基づいて、品質向上や工程短縮、施工性の向上につながるような設計の変更を提案することが主な業務の一つです。設計変更は、現場や発注者の要望、品質と工期、コストなどを総合的に勘案する"専門知識とバランス感覚"両方が必要とされる仕事で、難しいですがそれがやりがいでもあります。



※設計段階からゼネコンが関与する方式で発注される工事。ゼネコン各社が持つノウハウや工法を設計段階から取り入れ、発注者・設計者と協働して現場に合わせた最適な設計をつくりあげていく。

ON STYLE 03

今後の目標

新たな部門で、会社の発展に貢献。

現在は、近年増加しているECI方式※の入札案件への取組みを強化するために新設されたコンストラクションマネジメント部に所属。何世代にもわたり人々の暮らしを守り、豊かにする土木構造物に携わっているという責任感を持ち、最新の技術について勉強を続けながら会社の発展に貢献していきたいです。

OFF STYLE

休日は次男のサッカーへ。

次男がサッカーをやっているので、休日はその付き添い、送り迎えをしています。長男が中学生になり、家族全員で過ごす時間は貴重なものになりつつありますね（笑）。また私は本をよく読むのですが、本屋に行って、特に中身を見ずに直感で気になった本を買って読むのが好きです。おすすめ本を1冊あげるとしたら橋本治の「20世紀」でしょうか。独特の視点で20世紀の100年間を1年ずつ振り返っていて、民俗学的な観点からも面白い。おすすめですよ。





私のキャリア

現場から設計へ、キャリアがひらく。

現場を経験したあと、思いがけず設計のキャリアがひらいた幸良さん。イギリスの建設コンサルタント企業への出向を経て、現在は社内で新しく発足したコンストラクションマネジメント部で技術と知識を磨いています。

現場は「小さな会社」

入社後最初に配属されたのは、東京駅の東海道新幹線ホーム下の高架橋の改築を行う現場でした。一般の方が入れないような通路を歩いたりすると、自分がゼネコンで仕事をしている実感が湧きました。体力的にはきつかったですが、作業員さんが毎日缶コーヒーをくれたり、周りの人には優しく接してもらいましたね。そのあと大阪の鉄道現場に異動したときに、現場というのは一つひとつが小さな会社のようなものだと学びました。現場によって仕事の進め方など異なる部分が多いのです。私はこのまま現場で多くの経験を積み、いつか所長になることを思い描いていたのですが、入社4年目に突然のキャリアチェンジが訪れました。



阪急淡路駅周辺連続立体交差工事



初めての設計職、初めての海外赴任





ロンドン滞在中に住んでいた家

英国にある世界最大規模の建設コンサルタント会社であるモット・マクドナルド社へ、"設計職として"出向の辞令が出ました。会社から言われたのは「設計の思想を学んでくるように」ということ。当時、ロンドン市内を通るテムズ川は、老朽化した下水システムによる汚染が問題となっていました。私は、新たに下水を流すトンネルの建設工事において立坑の計画設計事業に携わりました。慣れない英語で、知識のない設計の仕事。正直とても大変でした。家族で赴任をしたので、休日は英国を拠点にベルギーやオランダ、フランス、フィンランド、アイスランドなどさまざまな国に旅行をしました。



MESSAGE

大林組は「正直な人、優しい人」が多い会社。
しっかり自分の考えを持ち、のびのび仕事をしてほしいです。

It's my LIFE.

CAREER PATH

大型案件への挑戦や、人生の転機。
「なりたい自分」への道には、さまざまな出来事が待っています。



一緒に経験して、思い出を積み重ねたい。

PEOPLE 04





積極的に挑戦して、大きな仕事をしたい。

PROFILE



小枝 千尋

2015年入社
土木本部
生産技術本部 シールド技術部 主任

大学で土木について学び、建設業に絞って就活を行う。現場や内勤などさまざまな職種があるゼネコンに魅力を感じ、現場見学会で会った社員たちの親しみやすさを魅力に感じ入社。会社の制度を活用しながら一男一女の母として奮闘中。

PEOPLE 04
CHIHIRO KOEDA

やってみたかったら、手を挙げる。それに応えてくれる会社だから。

ON STYLE 01

入社の決め手

子育てと両立できる仕事をする。

就活の際に考えていたのは、将来子育てと仕事を両立したいということ。これはもう、絶対でした。大林組の現場見学会で女性も現場で活躍していることをうかがい、ここなら大丈夫と確信。制度が整っていること、社員の雰囲気が良いことにも魅力を感じました。現場、内勤（設計部・技術部）と経験をして、子育ても仕事も応援してくれる会社だと実感しています。



ON STYLE 02

仕事のやりがい

良い提案のための、正しい理解。

現在は技術部に所属し、主に新規工事案件を受注するための技術提案を行っています。お客様は工期や環境など、解決して欲しいテーマを必ず持っているので、そこを正しく理解することを大切にしています。設計部や営業部などと密にコミュニケーションをとりながら良いアイデアや技術を的確に提案して工事の受注につながったとき、大きな達成感を感じます。



ON STYLE 03

今後の目標

保守的にならないこと。

内勤の方が時間の融通がつきやすく子育てしやすいのは事実です。でも私は第一子が生まれ復職するとき、希望を出して地下通路建設の現場に配属してもらいました。できる限り色々な挑戦をしたかったからです。これからも海外のシールド現場などに手を挙げるかもしれないです。そういう個人の「やりたい」を受け止めてくれる会社だと思います。

OFF STYLE

“思い出重視”の子育てを。

週末は家族全員でお出かけをします。旅行に行ったり、川遊びをしたり、土手に虫を探しに行ったり。普段の日の買い物も、ドライブやお散歩など“遊び”にして子どもたちと一緒に出掛けます。その分家事は溜まりますが、夜片付ければいいや、と思って。日々の思い出をつくることを最も大切にしているんですよね。大林組は子育てを支援する休暇やリモート勤務など「働く人に不安を与えない」環境なのが嬉しいですね。



いつか家族でマチュピチュに行きたい！

SPECIAL
INTERVIEW

土木職 女性社員座談会

CROSS TALK


YOSHIE OMAE


FUKA KANAZAWA


YOKO ONISHI


SAKURA YAMAMOTO

大前 慶恵
2009年入社
シールド技術部
技術第二課 副課長

シールドの現場経験を経て、内勤・シールド技術部へ。会社の制度を活用しながら子育てと仕事を両立。

金澤 楓花
2020年入社
四国支店
鳴門北島浄水場JV工事事務所

浄水場新設工事の施工管理を担当。仕事で大切にしているのは、現場全体への水平連絡。

大西 陽子
1995年入社
大林シンガポール
土木部門 部長

国内外において数々の現場および内勤部門を経験。現在は現地法人の子会社で入札業務・営業を担当。

山本 さくら
2023年入社
東京本店
横浜環状公田ICJV工事事務所

入社2年目。高速道路新設現場にて、開削工事を担当。工事が進み、景色が変わるのが仕事の楽しさ。

ゼネコンで活躍するのは“すごい人”だけじゃない。

男性との体力の違い、出産後のキャリア…。「ゼネコンで働きたいけど、やっていけるかな？」
女性が気になることについて、4人の先輩にお話を聞きました。

入社の決め手は？

山本　現場見学会で、その規模に圧倒されたことです。女性社員が大きな声で現場を回しているのもかっこいいと思いました。

金澤　私はインターンで社員同士の会話を聞いて、若い社員がのびのびしていると感じたことです。働きやすそうだなと思いました。

山本　雰囲気のいい会社ですよね。現場でもよく声をかけてもらえます。

大前　私は、学生時代に仲良くさせてもらっていた先輩が大林組に入社したことがきっかけだったんですよね。

大西　私は公務員試験を受ける予定でいたのですが、同じ学科の先輩から声をかけられて、これも縁かなと。一般の人は立ち入れない場所に入れるのも楽しそうでしたしね。



こんなキャリアを歩んでいます

大西　現在、シンガポールの子会社で入札業務や営業をしています。入社当時は地域限定型の現場勤務を行い、その後いわゆる総合職となりました。子どもの育休中に夫がジャカルタ勤務となり、会社が私をジャカルタでの工事案件にマッチングしてくれて家族で海外で生活した事もありました。

大前　大西さんは、海外で所長も経験されていますよね！私は入社以来ずっとシールド工事ですね。現場勤務経験を活かして4年目からシールド技術に携わり、出産・育休を経て今も技術開発などを行なっています。

金澤　私はいま、現場経験を積むためにローテーション中です。山岳トンネルや水路工事、高架橋、浄水場と、さまざまな現場を広く勉強しているところです。

山本　私はいまキャリアの一歩目です。インターチェンジの工事現場で仕事を覚えている毎日ですが、本当にみなさん優しいです。正直、もっと怖い方ばかりかと思っていました（笑）



女性から見た「大林組」

大西　私が入社した頃は女性が現場に出始めた時期。「女子トイレはどうする？」という感じですよ（笑）。私たちも現場の男性たちも少しずつ慣れていったというか。私は細かいことをあまり気にしない性格だったから、続けてこられたのかもしれないですね。



大前　今はどこの現場もきれいですし、もちろん女子トイレもありますよね。私は入社前「運動量がすごそう」と思っていたのですが、ゼネコンと作業員さんたちは業務が違うので、思っていたほどではなかったですね。

金澤　私は5年前の入社ですが、男女における差は全く感じていません。女性でも山岳トンネルの切羽で働けますし※。一方で更衣室やパウダールームの設備など、女性が働きやすい環境も整っています。また女性には特に優しい職人さんも結構います（笑）。

山本　体調を気遣ってくれたり、重いものを持ってくれたりと女性社員は配慮いただける部分がありますね。個人的には現場の日焼けが悩みどころです。こんなに日陰がないとは…！



みなさんに伝えたいこと

金澤　大林組で働くうえで「女性だから」という悩みはないですね。出産後もキャリアは積めるし、サポートもあります。ロールモデルといえる先輩方もいます。

山本　体力面では男性と違うので、助けてもらうこともあるかもしれない。でも別のところでこちらがサポートできることもあるはずと私は思っています。ぜひ一緒に働きましょう!

大前　女性にとって、出産は人生の大きなポイントですが、社内で相談がしっかりできるし、私も実際に両立できています（大変なときもありますけど）。興味があるけど迷っているなら、踏み込んでみるのをおすすめします。

大西　ゼネコンで活躍する女性は自分と同じとは思えない、すごい人だと私も思っていました。でも自分が所長を経験したり、後輩たちを見ているとそんなことはない。普通の人達が活躍する時代です。そしてそれは、男女問わずです。「女性活躍」って言葉も、これから女性がもっと増えたらなくなるんじゃないかな。



※労働基準法で禁止されていた女性の坑内労働は、2006年の法改正により技術上の管理業務および指導監督の業務について、就業制限の範囲から除外されました。ちなみに「山の女神が嫉妬して山が崩れるから女人禁制」と言われていた時代もあるそうです。

国内建設事業

社会を支えるインフラをつくり、守る仕事をすること。
それは大林組で働くことの、大きな醍醐味です。

道路（災害復旧）



DISASTER RECOVERY

広島呉道路

豪雨で分断された道路の早期復旧を実現。

2018年の西日本豪雨により、広島呉道路（クレアライン）が分断。山から流れ出た大量の土砂と樹木が道路を押し流し、被害は近接他県にも及びました。当社で復旧計画を立案、広島支店のみならず全大林組が力を結集し人員・重機資材を確保しました。崩落土搬出に際して岸壁を改良し、船舶で1,000㎥/回の大量搬出を実施。昼夜2交代・24時間体制で作業にあたり、早期復旧を実現しました。

橋



BRIDGE

圏央道利根川橋

幹線道路における橋脚7基を新設。

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）はスムーズな交通の実現、環境改善、沿線都市間の連絡強化など、多くの役割を担う幹線道路です。2車線区間を4車線化する事業が進められるなか、大林組は茨城県猿島郡五霞町～境町、利根川にかかる橋梁区間のうち、橋脚7基の新設工事に携わりました。2度の渇水期にわたる突貫工事という厳しい施工条件の中、安全品質を確保した上で工程を厳守し完成させました。

高架橋



OVERHEAD BRIDGE

中島高架橋

大林組の技術・アイデアが詰め込まれた高架橋。

首都圏と中京圏を結ぶ新たな大動脈となる新東名高速道路。大林組は新秦野ICと新御殿場IC区間で、高架橋（上・下部工）を建設しました。準備工事に時間を要する案件でしたが、設計施工案件※であることを最大限に活かし、生産性向上を実現するさまざまな取り組みを提案。短工期、高品質、かつ安全な橋梁建設を目指してプロジェクトを進行し、最大橋脚高46mの高架橋を完成させました。

※設計から施工まで一貫して関わるプロジェクト

提供／中日本高速道路

ダム



DAM

川上ダム

建設DXを駆使したコンクリートダム。

三重県伊賀市、木津川上流で洪水被害を軽減し、安定した水道用水の確保を目的とした重力式コンクリートダムを建設。狭い河川内という厳しい条件のなか、施工のオートメーション化を図りました。なかでもクレーン作業においては、自律運転などの要素技術とCIMを連携した現場管理で生産性、安全性の向上を実現しました。

トンネル



TUNNEL

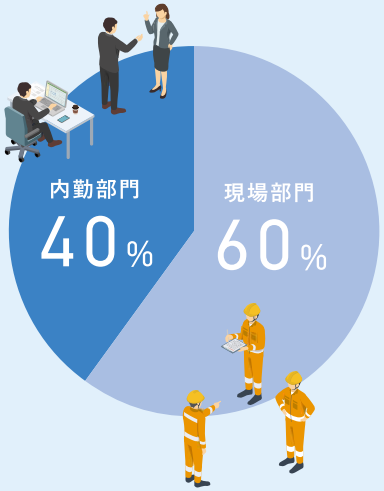
天ケ瀬ダム再開発

ダムの治水機能を高める水路トンネル。

琵琶湖から流下する宇治川をせきとめて流水量を調節する天ヶ瀬ダム。このダムの治水機能の向上を主目的とする再開発事業において川への放流能力を増強するため、トンネル式放流設備を建設しました。大林組は水の勢いを弱める減勢池部と吐口部を担当。国内初のトンネル構造である減勢工の設計にも携わり、国内最大級の超大断面を持つ水路トンネルを完成させました。

現場を支える内勤部門

大林組で働く社員は
6割が現場部門、4割が内勤部門です。
内勤部門は、専門的な技術・知識で現場を支える仕事で、
個人の適正や希望に合わせて
1年目から配属されることもあります。



設計
DESIGN



経験・知恵・アイデアを かたちにする喜び。

土木構造物の構造検討・設計をすることで、進行中の現場や、入札時支援を行います。たとえばトンネル現場の場合は、深度や地盤の条件などに応じて構造計算を実施し、構造形式や部材を決めます。入札の際は、お客様の課題や条件をふまえて技術提案をサポート。大林組だから可能になる構造の提案で、プロジェクトメンバーと共に案件の受注を目指します。また本設構造物の設計とは別に、工事を進めるために必要な構造物をつくる仮設構造物の設計も行います。




1 現場との関わり方

工事受注後、設計計算書や図面を確認。施工性・経済性を考慮して施工手順や施工計画に修正すべき箇所があるか検討しながら現場と協働しものづくりに取り組みます。

2 配属後の学び方

まずは構造計算に関する知識、スキルを習得。その後、実際の構造物の設計や構造計算書の作成などに携わっていただきます。ときには現場を見に行ってそのスケールを実感しながら、必要な知識を積み上げていきます。

3 仕事のやりがい

それぞれ形状や施工条件が異なり、ふたつと同じものがない土木構造物。自分の知識や経験を活かしたアイデアが反映され、現場が無事に完成すると大きなやりがいを感じます。

技術
TECHNOLOGY



課題解決をめざし、大林組の 強みとなる技術を開発

大林組では社会やお客様が抱える課題を解決するための技術や現場の生産性向上につながる新しい工法、材料などを開発しています。大林組には特許を取得している技術が数多くありますが、そのような他社にはできない技術を駆使して社会に貢献することを目指しています。また「20年先にこの技術があったら建設業界全体がもっと良くなる」という長期的視野に立った技術開発を、お客様や他社などと共同で行うこともあります。




1 現場との関わり方

現場では不測の事態が生じることがあります。生じた課題を解決する施工や技術を、現場や工事部、営業部と一緒に検討し、お客様に提案します。

2 配属後の学び方

先輩社員の指導のもと、業務に必要な基礎知識の習得を行うとともに、様々な技術検討や発注者との打合わせ資料作成などの実務を行っていただきます。

3 必要な資質

何事においても掘り下げて考える人は向いています。技術開発では土木に関する施工や設計の知識だけでなく、他分野の知識も必要になるため、積極的に学ぶ姿勢のある人が活躍できます。

営業
SALES



顧客の思いを汲み取り ロジカルに戦略を立てる。

「新規案件を発掘し、受注する」それが営業の大きな使命です。お客様と関係を深めて情報収集をしたり、入札案件においてプロジェクトマネージャーとして受注につながる戦略を立てます。お客様のニーズに合った提案をするために設計や技術部と調整し、プロジェクトをリード。受注後も窓口として現場に出向き、設計変更※1の交渉などを現場社員と一緒に行い、利益の確保に努めます。

※1 設計変更とは、現場の条件が変更となった際に、設計図や仕様書などが変更となることです。




1 現場との関わり方

案件を受注した後も、工事完了まで窓口として現場社員と共にお客様とのやりとりを行います。現場の要望を確認しながら、設計変更の交渉を行うのも営業の仕事です。

2 必要な資質

コミュニケーション能力は必須です。初対面の人がつい本音を言ってしまうような人柄や、長い間関係性を大切にする姿勢、関係各所のバランスを見ながらも言うべきことをしっかりと言える、ある意味での図々しさなども時には必要です。

3 仕事のやりがい

受注前から竣工まで、一貫して窓口としてお客様とつながることで信用を獲得します。様々な部署と一体となって進めた大きなプロジェクトが竣工したときは大きな達成感があります。

※大林組では、クライアントの種類により「民間営業」と「官庁営業」2種類の営業職があります。
※大林組では、新卒から営業に就くことはほぼありません。現場や他の内勤部門で経験を積んだ上で営業配属となります。

海外建設事業

大林組が海外のインフラ整備を始めたのは、90年以上も前のこと。
欧米・ヨーロッパ・アジアなど、世界各国で私たちの土木技術が活きています。



CASE1

台湾:桃園LNGタンク
工期:2019年7月～2023年8月

LNG(液化天然ガス)受け入れ基地を施工

台湾は近年、政府がエネルギー転換政策に取り組み、国民全体においても環境問題への関心が高まっています。大林組が建設したのは、LNGの輸入率増加に対応するための地上式LNGタンク2基。「短工期で、日本同様に品質の高い構造物」という難しいミッションを実行しました。



CASE3

アメリカ:ニューウェルクリークダム取水トンネル
工期:2020年4月～2024年2月

老朽化したダムの取水口・排水口を付け替える

1961年に建設された利水ダム(土を主原料としたアースフィルダム)の老朽化にともない、新たな取水・排水設備を構築しました。既存のダム施設や周辺の生態環境へも配慮しながら工事を進行、完成後は市民へ安全かつ効率よく飲料水を届けることが可能になりました。



CASE2

バングラデシュ:鉄道橋
工期:2020年8月～2024年8月

鉄道専用橋を新設、輸送のボトルネックを解消

経済成長に伴い、物流の効率化が課題となっているバングラデシュ。老朽化が著しい鉄道施設新設の必要性が高まる中、同国中央部を流れるジャムナ川に架けられている既存橋の鉄道部が単線の為、鉄道輸送が滞っていました。そこで、既存橋に並行して鉄道専用橋を新設し、輸送ネットワークの効率化を図りました。



CASE5

カンボジア:国道5号線改修工事
工期:2019年4月～2022年10月

「南部経済回廊」の改修で経済発展に貢献

首都プノンペンと隣国タイを結ぶ国道5号線はASEANをつなぐ「南部経済回廊」の一部であり、カンボジアの経済発展に不可欠な幹線道路です。大林組はその一部の改修工事を担当。洪水被害やコロナ禍を乗り越えて、工期末の1ヶ月前に開通させ、物流機能の向上や移動時間の短縮につなげました。



CASE4

グアム島:フィネガヤン地区基盤整備
工期:2017年9月～2023年7月

グアム島内、米軍移転関連事業における最大規模PJ

グアム島北部・米軍基地西側のフィネガヤン地区に、軍関係の施設を建設するための事業。沖縄から海兵隊約4,000名とその家族が移転するのにともない、伐採・除根、切盛土などの土地造成工事、および上下水道(水タンク等の構造物含む)、雨水排水、電気通信、道路、保安用フェンスなどのインフラ整備工事を行いました。











WE ARE OBAYASHI.












現場へのリスペクトと、
「みんなでやろう!」の気持ち。

大林組の魅力は、みなさんに伝わったでしょうか?
私たちは「現場」、そしてチームワークを大切にしています。
ここで活躍できるのは、器用になんでもひとりでできる人ではなくて、
不安やトラブルにもポジティブに向き合って「みんなで解決していこう!」と思える人。
仲間と一緒にいろいろなことを乗り越えながら
懐の深い、頼りがいのある人へ成長できるのが、大林組です。

採用担当一同、お会いできるのを楽しみにしています。